

サステナビリティ実務におけるAI活用

— 組織実践へのつながりとは —

7.24 (金) 開演 18:30 – 20:00

☑ AI活用は、サステナビリティ情報開示の効率化にどのような効果を及ぼすか

☑ AI活用は、組織および個人にどのようなインパクトと課題をもたらすか

実務現場では、ESG評価対応・サステナビリティ情報開示の業務量増大を背景に、AI活用の動きが進展しています。一方で、組織全体での活用やサステナビリティ戦略への展開には課題が残されています。本セッションでは、共同研究プロジェクトの成果発表をもとに、パネリストのAI研究・ESG投資におけるAI活用の知見と、開示・組織活用の研究知見を架橋し、CSVプログラム履修者と企業担当者の忌憚のない意見交換を行います。

◆ プログラム

研究発表 40分

サステナビリティ実務におけるAI活用 — 組織実践へのつながりとは

中尾 悠利子（関西大学）・中園 宏幸（関西大学）・石野 亜耶（広島経済大学／神戸大学）

グループ
ディスカッション
20分

参加者によるグループディスカッション

グループで議論し、パネルディスカッションへの質問につなげていただきます（会場・オンライン）

パネル
ディスカッション
30分

サステナビリティ実務におけるAI活用 — グループからの質疑に応えて

モデレーター 中尾 悠利子 / パネリスト 中川 慧・石野 亜耶・中園 宏幸

◆ 登壇者



研究発表・モデレーター

中尾 悠利子

関西大学 総合情報学部 教授



パネリスト

中川 慧

大阪公立大学 経営学研究科
CSV経営研究プログラム 教授



研究発表・パネリスト

石野 亜耶

広島経済大学 准教授／神戸大学 特命教授



研究発表・パネリスト

中園 宏幸

関西大学 ビジネスデータサイエンス学部 准教授

本研究は、JSPS科研費 JP25K05326（基盤研究(C)、研究代表者：石野 亜耶）および JP25K00687（基盤研究(B)、研究代表者：中尾 悠利子）の助成を受けたものです。

会場

関西大学 梅田キャンパス（KANDAI Me RISE）6階 601教室 阪急大阪梅田駅すぐ

※オンライン（同時配信）でもご参加いただけます

主催 関西大学／大阪公立大学大学院 経営学研究科 CSV経営研究プログラム

お申し込み <https://forms.cloud.microsoft/r/fXS8Wsxhun>

お問い合わせ 関西大学 学長課 gakuchohisho@ml.kandai.jp

